NIE実践報告

1．タイトル：☆「コラムノート」をつくろう

2．学校名

愛知県蒲郡市立塩津中学校

3．実践者名（代表者名）

小川　二幹　　田中　宏幸

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

選択国語科　33人

6．単元（本時の学習課題）名

「コラムノート」をつくろう

7．目標（狙い）

文章を進んで読んだり、書いたりすることのできる生徒の育成。

8．評価の視点

新聞から自分の関心にもとづいてコラムを切り抜き、自分なりに長くコメントを書くことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「コラムノート」をつくろう[年間35時間]

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)新聞は、公民分野の宝庫であること、新聞の紙面の特徴を知る。(1時間)
(2)いくつかの新聞を比較して新聞社や新聞の特色をつかむ。(1時間)
(3)新聞を読み、興味のあったコラムを切り抜き、わからない語句を調べ、短文作りを行う。(週1回授業中)
(4)コラムのコメントを書き、発表をする。(週1回授業中)

(留意点)
・生徒が切り取ったコメントを適宜印刷配布して、授業で活用していく。
・コメントについて、意見交換の場を設け、深めることができるようにする。
・ノート展をひらいて、友だちのノート作りのアイデアを交換する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

生徒は関心にもとづいてコラムノート作りを進めることができた。授業のはじめの頃は、1時間内にコメントまでまとめることができなかったが、後期には、全員が意味調べ、短文作り、コメントをまとめることができるようになった。

12．成果と課題

コラムノート作りを通して、生徒たちは新聞を読むようになり、語句、社会事象への関心を高めることができた。選択国語科を受講していた生徒たちの多くは、選択社会科で新聞切り抜きにも取り組むことができた。また、作文、詩、感想文などにも進んで応募することができた。